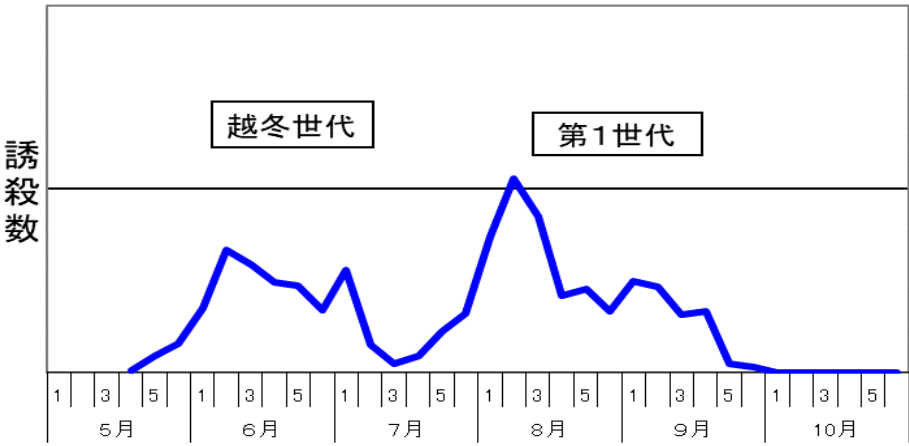


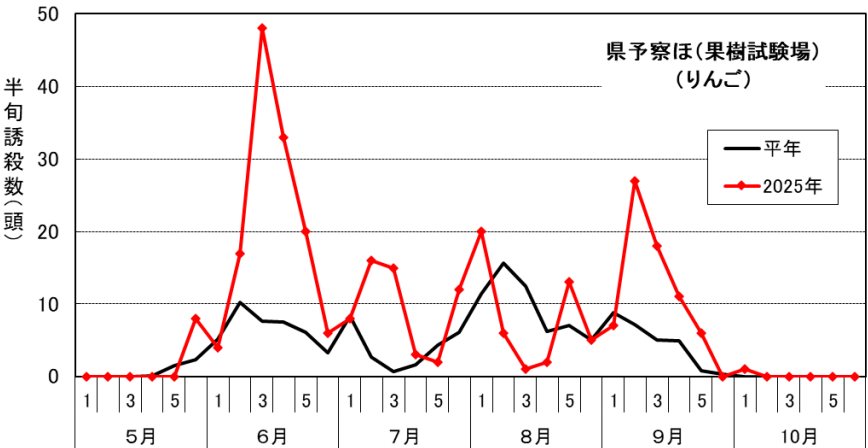
モモシנקイガのフェロモントラップ誘殺消長（令和 7 年（2025 年）調査）

病虫害防除部

過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 試験場予察ほ）



○県予察ほ（須坂市 長野県果樹試験場）



【発生生態と防除のポイント】

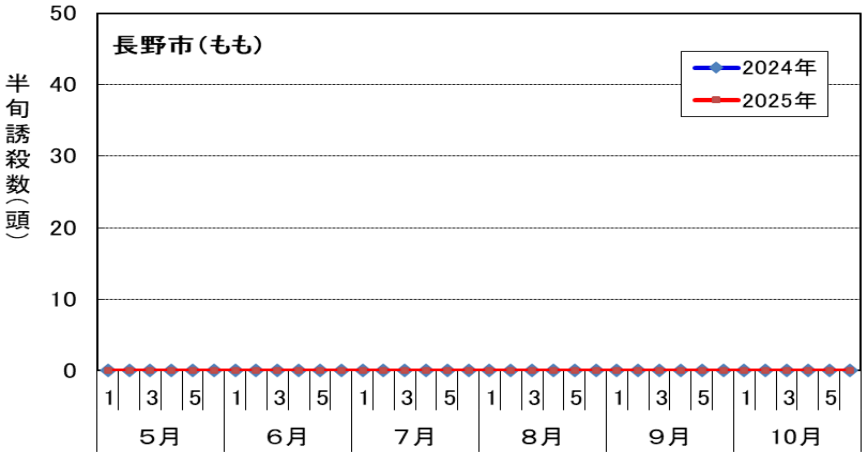
- ・標高 600m 以下の平地では年 2 回が大半である。
- ・準高冷地及び日照の少ない山沿いでは年 2 回発生が主体で、1 回発生が混在する。
- ・越冬世代成虫は 6 月上旬から始まり、7 月に入ると盛んになり、8 月上旬まで続く。産卵は 7 月になると急増し、産卵最盛期は 7 月中下旬で、大半は「がくあ部」に産みつけられる。
- ・第 1 世代成虫は 8 月上旬から発生し、発生最盛期は 8 月中～下旬である。産卵最盛期は、成虫の発生期とあまり変わらない。
- ・防除はふ化幼虫の食入防止を中心とする。6 月下旬から概ね 2 週間間隔で 9 月上旬まで防除する。特に 7 月中下旬と 8 月中下旬は重要な防除適期である。

【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・平年は越冬世代と第 1 世代はそれぞれ、発生期間の長い大きな山となるが、本年は誘殺の増減がはっきりし、各世代の中でもピークが複数に分かれた。
- ・越冬世代成虫の 6 月のピーク時の誘殺頭数は平年の約 5 倍であった。年間誘殺頭数も本年は平年の約 2 倍であった。

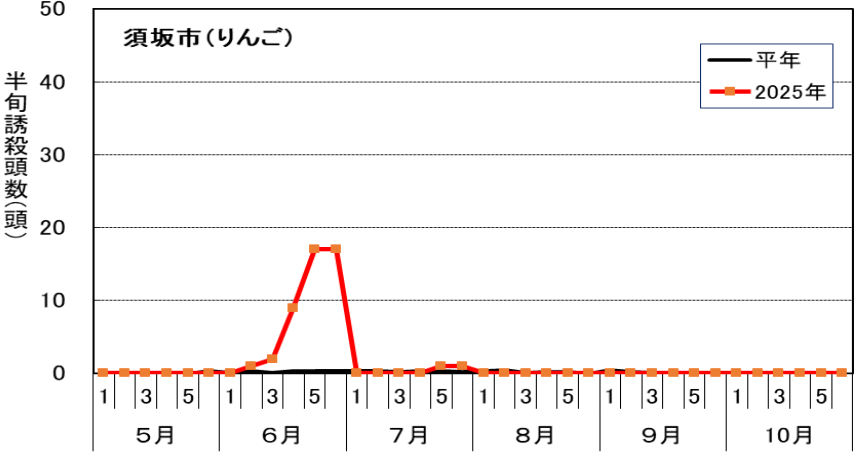


【調査地点】（標高約 370m）

- ・長野市（ももほ場）
- ・2024 年からほ場を変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・本地点は、例年誘殺頭数が極めて少ないが、本年も年間を通して誘殺が記録されなかった。



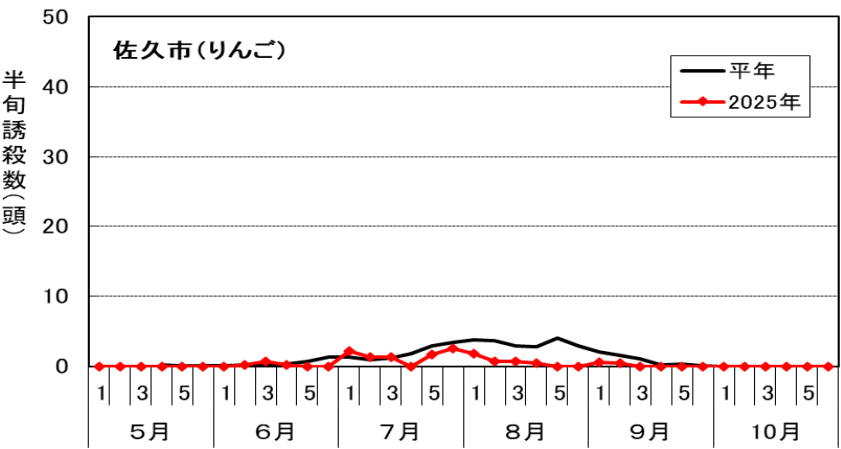
【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（りんごほ場）
- ・2023 年からほ場を変更したため、平年値はなし。

【コメント】

- ・例年誘殺が非常に少ない地点であるが、本年は越冬世代成虫が平年の 20 倍近く誘殺された。しかし第 1 世代成虫はほとんど誘殺されなかった。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



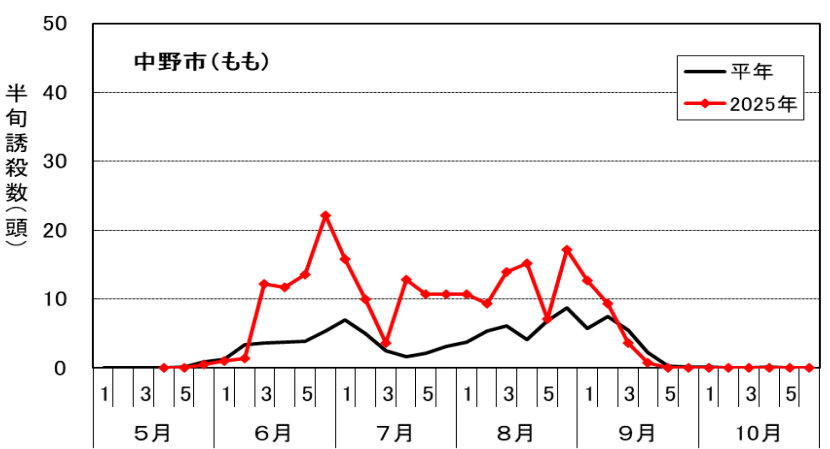
【調査地点】（標高約 680m）

- ・佐久市（りんごほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・例年、越冬世代と第 1 世代の発生の区別があまりはっきりしないが、本年も 7 月の頭と末に小さな誘殺の山がみられただけであった。年間誘殺頭数は平年より少なかった。

○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 370m）

- ・中野市（ももほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・例年の誘殺は 7 月頭がピークの越冬世代と 8 月末の第 1 世代のピークがそれぞれなだらかな山であるが、本年はピーク時の誘殺頭数が多く増減の幅が大きかった。年間誘殺頭数も、本年は平年の 2 倍強であった。

○長野市・須坂市（病虫害防除部）